



社会福祉法人 福角会

# いつきの里だより

発行：障害者支援施設 いつきの里

松山市福角町甲1829番地

Tel 089-978-1166

Fax 089-978-1411

http://www.hukuzumikai.com

E-mail: itsuki@poem.ocn.ne.jp



## いつきの里生活介護事業『日帰り旅行1班』

6月7日、念願の日帰り旅行へ行ってきました。9名の皆様で予定通りいつきの里を出発し、元気よく笑顔で見送りの職員へ「行ってきます！」と手を振り、楽しい旅行がスタートしました。バスの中では、久しぶりの旅行ということもあり、ワクワクされている様子でした。まずはタオル美術館に到着し、色とりどりのタオルやハンカチを目にし、たくさんの種類に皆さんびっくりした様子でした。館内を一通り見終わった後、「お土産はこれにする」「プレゼントはこれがいいかな？」等買いたいものが沢山あり、どれにしようかと迷いながらも気に入った物を選ばれていました。また、館内にはフォトスポットもあり、綺麗なタオルと一緒に写真も撮り、思い出の1ページを飾りました。次の目的地は休暇村瀬戸内東予で昼食を摂りに行きました。豪華な御膳料理で、見晴らしが良い景色の中、最高の食事になりました。美味しさのあまりペロリと完食されており、「美味しかった」と利用者さんから聞いて私も大満足でした。食事の後は愛媛総合科学博物館へ行きました。自然館と科学技術館の二つの施設があり、まずは自然館の方へ足を運びました。迫力満点の恐竜の像が飾られてあり、「すご！」「大きいね！」とリアルな恐竜像を目の前に、怖がることなく、嬉しそうな様子でした。科学技術館では、その名の通り、光や音、電磁気等の科学力のことや私たち人間の作り等が勉強できる場所でした。利用者さんの中で、新たに発見したこと、体験したことが増えたことだけでなく、コロナ禍で難しかった旅行もできてとても嬉しく思います。また、利用者さんの素敵な笑顔が見ることができ、私自身も元気を頂きました。今後も、利用者さんが笑顔になれる活動をたくさん考えていきたいと思いました。(安高)

## 堀江港青空市

5月18日、午後から、もえぎ寮・あかね寮利用者さん数名とほりえ港青空市に参加しました。私自身地域のイベントに参加するのは久しぶりで、大勢の来場者に驚きと期待をしながら皆さんと会場を散策しました。屋台やキッチンカーで販売されている食べ物の香りに誘われ、購入を待つ列に並び、順番に焼き鳥やベーグルパン、ウィンナーサンド、ベーコンの炙り串焼き、ジュースなどを購入し、現地で飲食を楽しみました。気持ちの良い潮風が吹き、会話も弾む中、楽しい時間を共有させて頂きました。帰りの車内でも「また皆で楽しい外出をしましょうね。」とお声掛けをさせて頂き、笑顔の絶えない一日でした。今後も利用者さんの楽しい時間が増えるよう、日々の業務に努めていきたいです。(宮内)



## 奏班お楽しみイベント

5月21日、奏班お楽しみイベントとして、フルーツパフェを作りました。カットされたフルーツを「どこに乗せようかな」「ここにもしてみる」と思い思いに盛り付けされていました。完成後、アイスクリームを真っ先に頂いたり、フルーツと混ぜて頂いたり、色んな食べ方をされていました。これから暑さの本番、冷たい物の摂り過ぎに注意しつつ、利用者さんと楽しくお菓子作りをしたいです。(菅)



## 普通救命講習

5月21日、松山市保健所にて開催された救命講習に参加させていただきました。年間の救急車出動件数は3万件と聞き、常に出動しているとのことで驚きました。心臓や呼吸が止まってしまうと、時間の経過と共に生存率が低下してしまいます。救急車が到着するまでの間、適切な応急手当を実施することがとても大切であることを学び、講習では心肺蘇生方法やAEDの取り扱いについて、人形を用いて実践していきました。また救命救急士の方の講義や現場での話を聞き、命の尊さを感じた貴重な時間になりました。日常生活において、そのような場に遭遇した際は、勇気を持って自分から動ける人で在りたいです。(堀本)



## 編集後記

ジメジメした梅雨時期から夏の季節になってきましたね。皆さま体調はお変わりないでしょうか？コロナウイルスだけでなく、熱中症にも十分お気を付けてください。今月号では、利用者さんが待ちに待った日帰り旅行について紹介しています。いつきの里では約5年ぶりの旅行ですが、その他多くのイベントもコロナ禍で中止になってきました。私自身も趣味であるマラソン大会の中止が相次ぎ、練習しても実力が発揮できないもどかしさを感じていた記憶があります。現在は基本的な感染対策を行いつつではありますが、以前の日常を少しずつ取り戻せており、趣味のマラソン大会へ出場することもできています。今後も引き続き感染対策を行いつつ、利用者さんと色々な場所へお出掛けしていきたいと思いました。(渡)

